

第 10 回
伊万里地区新高校
設置準備委員会
(資料)

平成 29 年 8 月 30 日
佐賀県教育委員会

目次

	頁
資料 1	新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画 (第1次)新高校設置準備委員会報告まとめ・・・・・・・・・・・・ 1
資料 2	各学科の教育内容(案)について・・・・・・・・・・・・ 3
資料 3	校歌・校章・制服の検討状況について・・・・・・・・・・・・ 6
資料 4	校舎制について・・・・・・・・・・・・ 7
資料 5	新高校設置準備委員会設置要領・・・・・・・・・・・・ 9
資料 6	伊万里地区新高校設置に向けた検討体制・・・・・・・・・・・・ 11
資料 7	伊万里地区新高校設置準備委員会委員構成・・・・・・・・・・・・ 12

新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画（第1次）
第9回新高校設置準備委員会報告まとめ

1 開催日時・場所等

地区及び再編対象校	開催日時・場所	委員
伊万里地区 ・ 伊万里農林高校 ・ 伊万里商業高校	平成29年 5月26日（金） 15時～16時15分 伊万里農林高校 視聴覚室	学校関係委員 4人 地域関係委員 7人 県教育委員会関係委員 7人
唐津地区 ・ 巖木高校	平成29年 5月31日（水） 10時～11時 巖木高校 同窓会館	学校関係委員 3人 地域関係委員 5人 県教育委員会関係委員 7人

2 主な意見等

地区	主な意見等
伊万里地区	<p>新高校の校名の検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公募は賛成である。中学生にも公募を周知するのは、これから始まる新しい高校のことに興味を持たせることにもなり、いいことだと思う。 (校名検討方法は「公募」とすることで委員了承) <p>(「校名検討における基本的な考え方」及び「校内検討委員会構成委員」については事務局案のとおり承認)</p> <p>新高校の校章、校歌、制服の検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校章は、伊万里市内あるいは有田町の中学生、高校生に募集をすればおもしろいアイデアが出てくるのではないかと。また、そのことが一つの宣伝になると思う。 (校内委員会で検討をすることで委員了承)
唐津地区	<p>学校説明会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個別進学相談に現在の中学2年生の保護者が参加することは可能か。 希望があれば、是非参加していただきたい。

1 現在の検討事項

各学科の教育内容と教育課程（カリキュラム）

新学科については「フードビジネス科（仮称）」とし、現在の食品化学科の内容を踏襲しつつ、農業科と商業科の特色を活かした6次産業化に対応した学科とする。

新学科以外の学科について、内容は既存の学科を踏襲しつつ、農業科については学科名の変更も検討する。

両学科相互での授業設定の検討

（例）商業科での野菜栽培実習、農業科（新学科以外）での簿記やマーケティング、四年制大学進学に向けた進学指導 等

2 各学科の教育内容（案）

農業科

生物生産科 学科名変更予定	
目 標	動植物に関する基本的な知識や技術を習得させ、将来、農業や農業関連産業を通じて地域社会に貢献する人材を育てる。
特 徴	<ul style="list-style-type: none"> ◎植物の栽培、動物の飼育の知識・技術を基礎から応用まで学習する。 ◎実習を通じて、学習をより身近なものにし、農業についての理解を深める。 ◎農業に関する資格（日本農業技術検定）等、幅広い分野の資格取得を目指す。 ◎交流を通じて、地域貢献できる喜びを体験し、社会性を身に付ける。 ◎2年次より、植物コースと動物コースに分かれて学習する。 植物コースは、果樹、野菜、草花の栽培 動物コースは、大家畜と小動物の飼育
専門科目	<ul style="list-style-type: none"> ・農業と環境 ・課題研究 ・総合実習 ・農業情報処理 ・作物 ・野菜 ・果樹 ・草花 ・畜産 ・農業経済 ・農業機械 ・植物バイオテクノロジー ・動物バイオテクノロジー ・生物活用 ・動物科学

森林工学科 学科名変更予定	
目 標	森林の育成保護とその利用、自然環境の保全・農業土木の基礎的知識、技術について学び、将来、林業・農業土木を担う人材を育てる。
特 徴	<ul style="list-style-type: none"> ◎学科の特徴を活かした資格（測量士補、刈り払い、伐木、小型フォークリフト、小型車両）やその他の資格（危険物、ワープロ、情報処理、漢字検定等）を取得できる。 ◎県内唯一の林業を学ぶ学科として、森林の育成保護とその利用、自然環境の保護等について学ぶ。 ◎2年次より、林業コースと土木コースに分かれて学習する。
専門科目	<ul style="list-style-type: none"> ・測量 ・農業と環境 ・総合実習 ・農業情報処理 ・造園技術 ・課題研究 ・森林経営（林） ・森林科学（林） ・林産物利用（林） ・農業土木施工（土） ・農業土木設計（土） ・水循環（土） <li style="padding-left: 40px;">林業コースは（林） 土木コースは（土）

フードビジネス科 新学科仮称	
目 標	食品に関する基礎的・基本的な知識と技術を学習し、社会のニーズに合わせた商品開発や経営を体験的に学習し、将来、自ら「加工品（商品）」を製造し、販売及び、経営できるスペシャリストを育てる。
特 徴	<ul style="list-style-type: none"> ◎食品分野全般（食品製造、食品化学、微生物利用、食品流通等）と商業科目（ビジネス基礎等）について学び、2年次より生徒の興味関心・進路に応じたコース制をとることでより専門的な知識・技術を習得できる。 ◎各種検定（簿記、販売士）等の資格取得を目指す。 ◎ビジネス社会で必要な礼儀、作法を身に付ける。 ◎SBP（ソーシャルビジネスプロジェクト）活動を推進する。 ◎2年次より、食品製造コースと流通実践コースに分かれて学習する。
専門科目	<p>【農業科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業と環境 ・食品製造 ・食品化学 ・微生物利用 ・食品流通 ・農業情報処理 ・総合実習 ・課題研究 <p>【商業科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス基礎 ・簿記 ・マーケティング ・広告と販売促進

商業科

商業科	
目 標	商業全般に関する基礎・基本的な知識や技術について学習し、将来、地域産業（事務、販売、流通分野）を担う人材を育てる。
特 徴	<ul style="list-style-type: none"> ◎幅広く商業全般（ビジネス基礎、簿記、情報処理等）について学習し、さらに生徒の興味関心・進路に応じた選択制をとり、専門的知識・技術を学習する。 ◎各種検定試験（簿記、情報処理）等の資格取得を目指す。 ◎ビジネス社会に必要な礼儀、作法を身に付ける。
専門科目	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス基礎 ・簿記 ・情報処理 ・財務会計 ・原価計算 ・マーケティング ・ビジネス経済 ・課題研究 ・総合実践 ・ビジネス情報 ・広告と販売促進 ・経済活動と法

情報処理科	
目 標	コンピュータの実用的な知識と技術を学習し、将来、高度情報化社会で積極的に活躍できるITスペシャリストを育てる。
特 徴	<ul style="list-style-type: none"> ◎情報処理に関する幅広い知識と技術を習得する。 ◎これから進展する高度情報化社会で安全に情報を活用するための関連法規や情報セキュリティを学ぶ。 ◎情報関連の検定や経済産業省の国家資格（上級資格）等の取得を目指す。 ◎企業内の情報化を推進し、システム運用ができる情報管理者の育成を目指す。 ◎国公立大学等への進学を目指す。
専門科目	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス基礎 ・簿記 ・情報処理 ・財務会計 ・ビジネス情報 ・プログラミング ・課題研究 ・マーケティング ・原価計算 ・ビジネス情報管理

1 校歌

作詞は公募、作曲は人選のうえ依頼

作詞は3月の新高校校名決定を受けて公募を開始する。

作曲者は作詞の公募前に人選をしておき、歌詞決定後、速やかに依頼する。

盛り込みたいフレーズやイメージ

農業、商業、学校像、伊万里の自然、歴史・文化 等

2 校章

校章は3月の新高校校名決定後に公募を行う。

3 制服

平成30年8月の体験入学時に現物の展示ができるようにする。

広報用のリーフレット、ポスター、パンフレットで紹介できるように、平成29年度内に新高校制服のデザイン案を決めておく。

校舎制に係る今後の主な検討事項整理

1 生徒の配置、移動

校舎名については、説明の都合上、現在の伊万里農林高校の校地を農林校舎、現在の伊万里商業高校の校地を商業校舎としている。

【配置について】

生徒の配置について、農業科は農林校舎、商業科は商業校舎が基本となるが、6次産業化対応の新学科については、1年次を商業校舎、2・3年次を農林校舎とする。

- ・ 新高校としての一体感の醸成が期待できる。
- ・ 新学科1年次の実習科目については、商業校舎から農林校舎への移動が生じることが考えられる。

【移動について】

学習活動面

例えば総合選択制のように生徒が学科を越えて科目を履修できるような形とするか。

- ・ 生徒の学習面での選択肢が増える。
- ・ 学科を越えた科目選択を行う場合には生徒の校舎間の移動が伴う場合もある。

行事面

合同行事の精選（時期、場所、運営方法）

合同開催が良いもの、または各校舎での開催が良いものを線引きしていく。

合同行事として考えられるもの（要検討）

入学式、卒業式、文化祭、体育祭、修学旅行、1年次宿泊研修、高校総体壮行会、芸術鑑賞会、学年交流会、クラスマッチ等

生徒、保護者の移動手段

合同行事の際は現地集合とするのか、または移動のためのバスを手配するのか。

開催場所は学校施設だけでなく、伊万里市民センターや伊万里市民会館等の公共施設も考えるのか。

部活動面

設置する部とその活動場所、顧問の配置について検討する。

週内で合同練習の日、各校舎練習（パート練習、個人トレーニング等）の日に分けるなど、効率良く練習ができるように工夫する。

校舎間はどのような移動手段とするのか。

【その他の主な検討事項】

職員に係るもの

職員の校舎間兼務の取り扱い。

職員会議などの各種会議や各種研修の在り方。

各種委員会に係る職員配置。

校務分掌に係る職員配置。

校務分掌に係る各種規程（教務内規、生徒指導や進路指導に係る校内規程等）の摺合せ。 等

学校事務に係るもの

文書を両校舎で共有するためのシステム作り。 等

2 新高校の校舎の名称

【現 在】	【伊万里地区新高校】
・伊万里農林高校	()
・伊万里商業高校	()

- <参考> ・杵島地区（新白石高校）... 普通科キャンパス（現在の白石高校）
商業科キャンパス（現在の杵島商業高校）
- ・鹿島地区（新鹿島高校）... 赤門学舎（現在の鹿島高校）
大手門学舎（現在の鹿島実業高校）
- ・嬉野地区（新嬉野高校）... 塩田校舎（現在の塩田工業高校）
嬉野校舎（現在の嬉野高校）

新高校設置準備委員会設置要領

平成14年10月21日
佐賀県教育委員会教育長決定
一部改正 平成17年4月 1日
一部改正 平成18年7月12日
一部改正 平成21年4月 1日
一部改正 平成27年4月 1日

(設置)

- 第1条 佐賀県立高等学校再編整備実施計画に定める再編等によって設置される高校(以下「新高校」という。)の具体的な在り方等を検討するために、県立高等学校再編整備推進本部設置要綱第7条の規定に基づき、新高校設置準備委員会(以下「委員会」という。)を設置する。
- 2 委員会は、新高校ごとに別表のとおり設置する。

(所掌事項)

- 第2条 委員会は、次の各号に掲げる具体的な検討を行う。
- 一 新高校の教育内容及び管理運営等に関する事
 - 二 新高校の施設・設備に関する事
 - 三 新高校への円滑な移行に関する事
 - 四 前号に掲げるもののほか、検討を要する事

(組織)

- 第3条 委員会の委員は、再編等整備の対象となる学校(以下「再編等対象校」という。)の校長、教職員、県教育委員会事務局関係者及び地域関係者のうちから教育長が委嘱する。
- 2 委員会には委員長及び副委員長を置き、再編等対象校関係委員の中から教育長が指名する。
 - 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代理する。
 - 4 委員長は、必要と認めるときは、委員会に作業部会を設置することができる。

(会議)

- 第4条 委員会は、委員長が招集し、主宰する。
- 2 委員長は、必要と認めるときは、委員以外の者に委員会への出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(事務局)

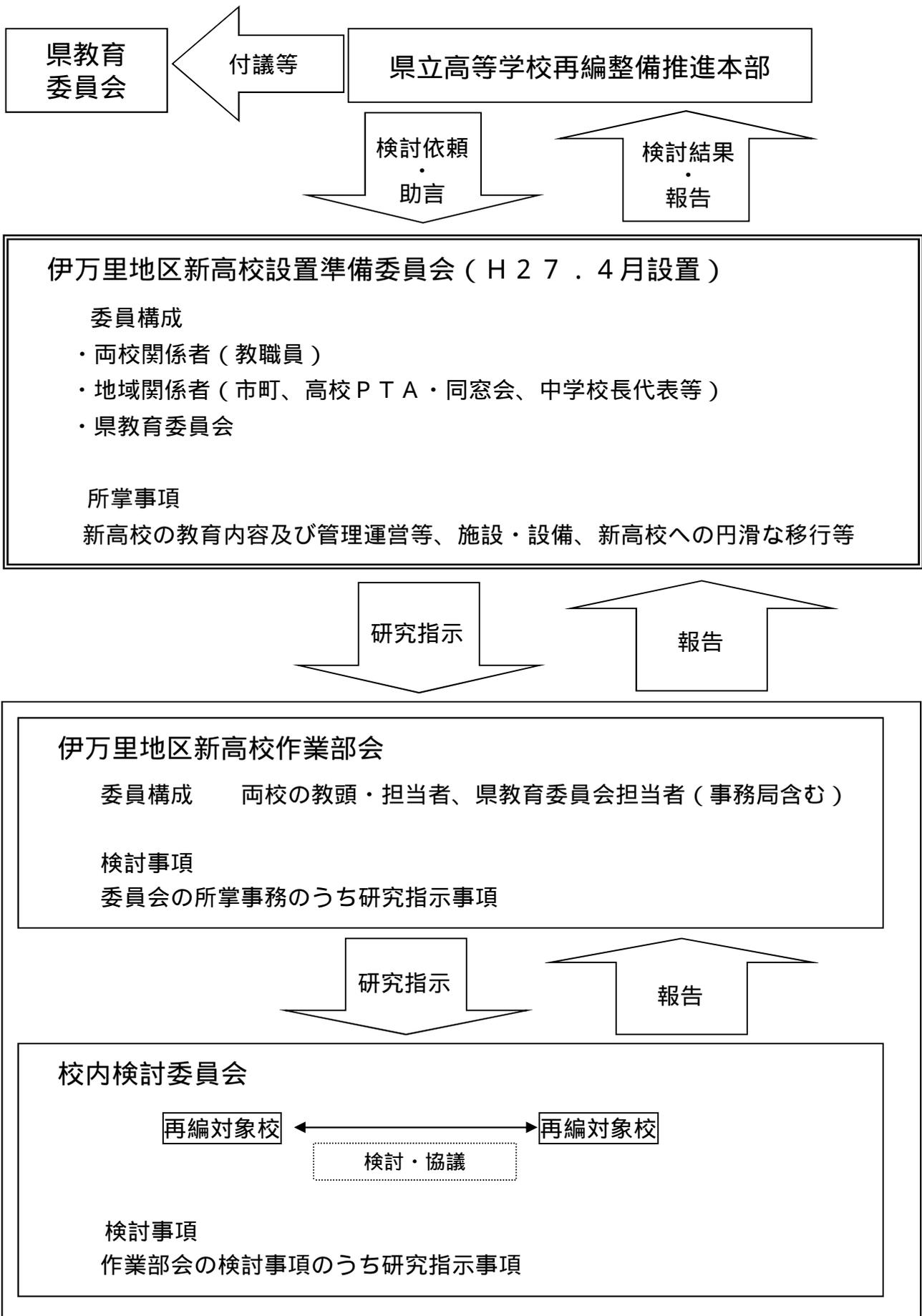
- 第5条 委員会の事務局は、委員長が所属する学校及び県立高校再編整備推進室に置く。

(補足)

- 第6条 この要領に定めるもののほか、委員会及び作業部会の運営に必要な事項は委員長が委員会に諮って定める。

別表（第1条関係）

委員会名	再編等対象校
伊万里地区新高校 設置準備委員会	伊万里農林高等学校、伊万里商業高等学校
杵島地区新高校 設置準備委員会	白石高等学校、杵島商業高等学校
新巖木高校 設置準備委員会	巖木高等学校
鹿島地区新高校 設置準備委員会	鹿島高等学校、鹿島実業高等学校
嬉野地区新高校 設置準備委員会	塩田工業高等学校、嬉野高等学校



資料7 伊万里地区新高校設置準備委員会委員構成【平成29年度】

No.	所属・職名	氏名	備考
1	伊万里商業高等学校 校長	熊谷 正実	委員長・学校関係者
2	伊万里農林高等学校 校長	青木 久生	副委員長・学校関係者
3	伊万里商業高等学校 教頭	大川内弘紀	学校関係者
4	伊万里農林高等学校 教頭	外戸口良文	
5	伊万里市教育長	森 哲也	伊万里市関係者
6	伊万里市政策経営部長	佐藤 弘康	
7	伊万里商業高等学校 同窓会代表	森 日出生	地元関係者
8	伊万里農林高等学校 同窓会代表	岩永 康則	
9	伊万里商業高等学校 PTA代表	山崎 高広	
10	伊万里農林高等学校 PTA代表	池田 和幸	
11	伊万里市立伊万里中学校 校長	朝長 省吾	中学校関係者
12	教育総務課長	熊崎 康春	県教委関係者
13	教育振興課長	五反田 進	
14	教職員課長	青木 勝彦	
15	学校教育課長	大井手 広毅	
16	教育情報化支援室長	碓 浩一	
17	保健体育課長	牛島 徹	
18	県立高校再編整備推進室 室長	原 和弘	
19	県立高校再編整備推進室 教育企画監	岩村 彰	
事務局	伊万里商業高等学校教諭	坂口 哲也	
	伊万里商業高等学校教諭	松尾 武	
	伊万里農林高等学校 指導教諭	松尾 信寿	
	伊万里農林高等学校教諭	藤 一郎	
	県立高校再編整備推進室 企画主幹	山下 秀司	
	県立高校再編整備推進室 企画主査	杉本 耕一郎	